

今年も折り返し点となり、日本は梅雨の最中でしょうか。私はつい先日、冬の厚手のボアシートを洗濯したばかりですが、それから数日も経たない内に35度まで気温が上昇し、真夏の到来となりました。例年の如く、昼間はシャッターを降ろして部屋に外気を入れないようにして、扇風機で何とか過ごしています。この高温でコロナウィルスが収束に向かうと良いのですが……。そう思うと、この暑さも感謝です。この時期は1年の内で一番日が長く、日没は22時30分頃です。真冬は16時には真っ暗になるので、神様は公平に太陽を与えてくださっています。

さて、私が住んでいる州では、昨年11月からのロックダウンから、7カ月ぶりにコロナ防疫州令が改正し、6月21日以降のマスク着用義務など一部の措置が緩和されました。先々週より全ての店が開き、レストランでもコロナ感染の陰性証明がなくても食事をする事が可能となりました。私はこの勢いに目を回しながら、なかなかついてゆくことができません。

同時にこれまで長い間、会堂での賛美は禁止でしたが、やっと許可が出ました。これを受けて、私たちの教会もSkypeから会堂での礼拝へと切り替える方向で調整し始めました。しかし、礼拝を初め、様々な集会が1年半もの長きに亘り、オンラインで行っていたので、いきなり元に戻すことは些かハードルが高いので、夏休みが終了して、世の中が落ち着いた9月から第2・4週目に再開することを目途にしています。家庭集会も同時に再開する予定ですが、慎重に様子を見てゆくことにしました。

ドイツ人は夏のバカンスに「命を懸けている」といっても大袈裟ではなく、1年半の抑圧生活が終了し、どっと動き始めると感染者が増える可能性もあるので、あくまでも慎重を期する必要があります。そのような中で、規制緩和の第一歩として、来週はママたちとの読書会を、一同が顔を合わせて集まる予定なので楽しみにしています。この様子は次月にご紹介させていただきます。

先月ご報告した、来月日本へ本帰国されるご家族に関する事です。6歳の男の子が我が家で、創世記物語の本を作成しています。その時の会話で私が「Mちゃんが日本へ帰ると寂し〜い!」と言ったら、「日本に帰る迄、僕たちいっぱい会おうね」と即答!まるで恋人の会話のような……。切ないながらもほっこりとした時間となりました。神様の創造の御業をしっかりと頭に入れて日本へ帰ります。いつの日かイエス様と結ばれることを願いながら、可愛い恋人と残り僅かな日を過ごしています。

日本もこれから夏本番を迎えると思いますが、コロナ感染と共に更にお身体が守られますようにお祈りしております。



とっても綺麗な夕焼けにうっとり・・・



びっくりするほど聖書のお話が頭に入っていて、神様の御業を思いながら創世記物語の本を作成中。
良い思い出になりますように・・・。



乗り捨て自由な貸自転車
乗ってみたい!
でも、乗れない私、
今更練習は・・・残念無念